

## 東日本地区会例会 開催

平成29年10月5日(木)、ホテル函館ロイヤルにおいて、東日本地区会(代表幹事：東原浩／(株)HBA 常務取締役)の例会が開催された。参加者は20名。



東原代表幹事から「昨年北海道新幹線が開業したのを記念して、今回は函館での開催となった。東北と北海道の結びつきをより深めていきたい。」と開会の挨拶があり、また経済産業省 北海道経済産業局 地域経済部 伊藤英喜部長から「北海道経済産業局では、IoT、AIなど成長分野の産学官連携を支援している。地域未来投資促進法が施行されたので、活用してほしい。」と挨拶があった。

議事に入り、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 和泉憲明企画官から、商務情報政策局の組織再編の説明に続いて、Society5.0 につながる Connected Industries、IoT 推進ラボの活動や地域・中小企業への展開、「第4次産業革命スキル習得講座認定制度」の創設を始めとする人材育成などについて説明があった。

次に、JISA 小脇一朗副会長・専務理事から、「JISA Spirit」の具現化に向けたスタンスと道筋、革命プロジェクト・下請取引適正化自主行動計画の策定・日本で開催する ASOCIO2018 などの重点事業のポイントについて説明があった。また、働き方改革について、その背景や内容の説明の後、賛同(近々募集予定)の呼びかけがあった。

最後に、東北地区の早坂栄二理事(東北インフォメーション・システムズ(株)から同地区のIT業界状況やJISA地方創生シンポジウム(平成28年開催)をきっかけとした熊本との交流について、また東原代表幹事から北海道のIT業界の動向について報告があった。



休憩を挟んで、公立ほこだて未来大学教授で前人工知能学会会長の松原仁氏による講演「人工知能最前線：人工知能は世の中をどう変えるか」が行われた。松原氏は人工知能の歴史をひもとき、身近なところにある人工知能の例、定置網漁業に活用されている実例、人間と人工知能のこれからなどについて分かりやすく解説した。

(赤尾)